令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

阿倍野小　　学校	児童数	86

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	13.14	21.50	35.62	38.00	42.91	9.69	143.55	18.86	51.03
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.29	22.28	44.36	42.37	37.43	9.82	144.22	12.90	56.94
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

本校5年生の体力テストの結果について、体力合計点を見ると、男子は51.03点で大阪市平均とほぼ同程度だったが、全国平均をやや下回る結果だった。一方、女子は56.94点で大阪市平均及び全国平均を上回る結果だった。

種目別に見ると、男子は上体起こしや長座体前屈など体幹や柔軟性に関する種目で比較的良い結果だったが、握力や立ち幅跳び、ソフトボール投げなど筋力や瞬発力に関する種目では平均を下回る傾向だった。女子は上体起こしや長座体前屈、20mシャトルランなどで平均を上回り、体幹の強さや持久力の高さが見られる傾向だった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では、「好き」が61.5%、「やや好き」が23.1%で合わせて84.6%の児童が運動やスポーツを好意的に捉えている結果だった。一方で、「やや嫌い」が5.1%、「嫌い」が10.3%と、運動に苦手意識をもつ児童も一定数いることが分かった。

また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子16.7%、女子14.6%だった。運動を好意的に捉えている児童が多い一方で、日常的に体を動かす時間が十分に確保できていない児童もいる状況だった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、体育の授業の充実や外遊びの推進など、児童が日常的に体を動かす機会を大切にした取り組みを進めてきた。その結果、多くの児童が運動やスポーツを好意的に捉えており、体を動かすことへの意欲が育っている様子が見られた。また、女子の体力合計点が大阪市平均及び全国平均を上回るなど、これまでの取り組みの成果も見られた。

一方で、男子の体力面では全国平均を下回る項目も見られ、筋力や瞬発力に関わる力の向上が課題として考えられる。また、日常生活の中で十分な運動時間を確保できていない児童や、運動に対して苦手意識をもつ児童も一定数見られた。

今後は、体育の授業において基礎的な体力の向上を図るとともに、休み時間や学校生活の中でも体を動かす機会を大切にし、すべての児童が楽しみながら運動に親しむことができるよう取り組んでいく。